



令和三年度第一回

理事会開催

八月五日（木）午前九時五十分より北九州市小倉北区井堀の福岡県立北九州勤労青少年文化センター（通称・北九州パレス）において特定非営利活動法人通院介護センター「さわやか」令和三年度第一回理事会を開催しました。

手指の消毒や部屋の換気を

徹底し、行なう

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、マスクの着用と『密』にならないようにし、手指の消毒や部屋の換気を徹底するなど、特に気を付けて行ないました。

初めに、山田理事長より開会宣言がありました。

続いて、資格審査委員に高原事務局長が選任され、理事総数六名、出席者数六名で定款の条項を満たしているの、この理事会は有効に成立する旨報告がありました。

次に、定款に基づき議長に山田理事長が選任されま



した。

また、議事録署名人に梶原常務理事と高原事務局長が選任されました。

その後、審議に入りまし

初めに、貞谷事務局員より令和二年度活動報告、梶原常務理事より令和二年度収支決算報告があり、全て満場一致で承認されました。

続いて、山田理事長より令和三年度活動方針（案）、梶原常務理事より令和三年度事業計画及び収支予算（案）の提案があり、承認されました。

次に、山田理事長より八月二十八日（土）に行なわ

れる第十七回「さわやか」定期総会での役割分担等の確認がありました。

福岡県4度目の緊急事態宣言へ

1日当たりの新規感染者が1000人越え

福岡県は八月十八日に、新型コロナウイルスの感染者を新たに一二五三人を確認しました。

これまで最多だった八月十二日の一〇四〇人を大きく上回りました。

政府は、福岡県をはじめ、茨城県、栃木県、群馬県、静岡県、京都府、兵庫県の六府県に新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言を適用することを決めました。期限は八月二十日から九月十二日までです。

福岡県は、七月二十八日から福岡コロナ警報を発動し、八月二日から「まん延

以上で、理事会の議案すべての審議が終了し、午前十時四十分閉会しました。

防止等重点措置」を適用していますが、感染力の強い「デルタ株」への置き換わりが進む中で感染が急速に拡大しており、県全域で強い措置を講じる宣言が必要と判断しました。

さらに八月五日からは、福岡コロナ特別警報独自の「福岡コロナ警報」の警戒レベルに引き上げ、県有施設の使用を全面的に中止することも決めました。

福岡県での宣言発出は六月二十日までで解除されて以来、四回目となります。

ワクチン接種後も

感染対策が重要

新型コロナウイルスワクチンの接種を終えてから免疫が完全につくまでには二週間かかるとされますが、海外では、その後に感染が確認される事例がまれに報告されています。

それを「ブレイクスルー感染」とも呼ばれています。「ブレイクスルー感染」の報告が増え始めた七月、感

染後に長期に渡って患者を苦しめる後遺症（ロング・COVID）の実態も見え始めてきました。

国立感染症研究所が、自治体や医療機関からの報告をもとに初めて調査を行なった結果、六月末までの三か月間に合わせて六十七人の感

染が確認されました。

また、

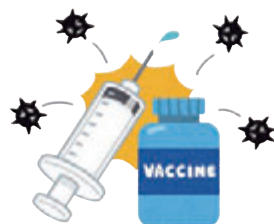
福岡市でも六月三十日から八月六日までに少なくとも七十人の感染が市の調査で分かりました。

重症化した人はいませんでした。

ウイルスの遺伝子を解析できた十四例のうち、十二例がイギリスで確認された変異ウイルスの「アルファ株」で、インドで確認された「デルタ株」は二例でした。また、一部の検体からは、感染力を持つウイルスも検出されたということです。

国立感染症研究所は「ワクチンの有効性を否定する結果ではないが、接種後も感染対策を続けることが重要だ」と話されました。

（八月二十日現在）
（インターネットより参照）



残暑お見舞い

申し上げます

お盆も過ぎてもなお、蒸し暑さが続いております
皆様お変わりなくお過ごしでしょうか

全国各地で、新型コロナウイルスの感染が

急拡大しております

お互いに体調に気をつけましょう

二〇二一年八月 事務局一同



デルタ株は従来と症状が違うので

要注意!

全国各地で新型コロナウイルスの感染が急拡大している要因とされる変異株「デルタ株」は、従来より感染力が強いデルタ株への置き換わりを警戒されています。そこでデルタ株について抜粋をしてお紹介します。

インドで最初に確認された新型コロナウイルスの変異株「デルタ株」が引き起こす主な症状が、従来の系統のウイルスに感染した人とは異なる可能性があることが、研究により示唆されました。

「B・1・617・2」とも呼ばれるデルタ株とそのサブ系統は、これまでに七〇ヶ国以上で見つかっており、一部の地域では急速に広がっています。

例えば英国では、いまや新規感染例の九〇%以上を占めるようになっていきます。症状に関する知見は、アプリを用いて新型コロナウイルス感染症の症状を調査している「ZOE COVID 症状調査」で得られたもの



変異株に対するための感染対策

変異株は、強い感染力を有しています。マスク着用、手洗い、「密」の回避など、基本的な感染対策の徹底をお願いします。引き続き、テレワークの実践をお願いします。

【マスクの正しい着用】

マスクを鼻にすき間なくフィットさせ、しっかりと着用してください。

品質の確かな、できれば不織布を着用してください。

【こまめな手洗い・手指消毒】

共用物に触った後、食事の前後、公共交通機関の利用後などは必ず手洗い・手指消毒をお願いします。

【3密（密接・密集・密閉）の回避】

一つの密でも避けて、「ゼロ密」を目指しましょう。

特に人と人との距離は十分に保ってください。

おしゃべりする時間は出来る限り短くし、大声は避けてください。今まで以上に換気を行ってください。

【職場や学校における感染対策】

マスクの着用や3密の回避を徹底してください。

出来る限り、テレワークを行ってください。

体がだるい、熱がある、のどに違和感があるなど、いつもと体調が異なる時は、出勤や登校を控えてください。

※ワクチン接種後も、マスクを着用するなど、引き続き、感染対策を行ってください。

このプロジェクトは、マサチューセッツ総合病院、ハーバード大学T・H・チャン公衆衛生大学院、キングズ・カレッジ・ロンドン、スタンフォード大学医学部の研究者らが、ヘルスサイエンス企業ZOEと共同で立ち上げました。ZOE調査に携わっているキングズ・カレッジ・ロンドンのティム・スペクター

教授によれば、このアプリによって英国で収集されたデータは、デルタ株のおもな症状が、従来の症状とは若干異なる可能性を示唆しています。

最も多い症状は「頭痛」？

米疾病予防管理センター（CDC）によれば、新型コロナウイルス感染症でもっともよく見られる症状は、発熱や乾いたせき、疲労感



とされています。だが、スペクター教授によれば、デルタ株が主流になってきている英国では、頭痛やのどの痛み、鼻水が最も多くなっています。

「全てのアプリユーザーの主な症状を調べてきたが、認識すべき極めて重要な点は、五月ははじめ以降の症状が以前と同じではなくなっていることです。

最も多い症状は頭痛で、のどの痛みや鼻水、発熱がそれに続いている」とスペクターはZOEのビデオアップデートの中で述べています。

「咳は五番目で、比較的少なく、嗅覚の喪失はもはやトップ10にも入っていません。」

この変異株は、以前とは若干異なる挙動をするようです」

また若い人では、デルタ株の症状は「ひどい風邪」によく似ているといいます。

（そうした症状の変化は）世間では認識されていないし、政府の情報の中までも伝えられていません。

そのため、自分はんらかの季節性の風邪をひいただけだと考えて、そのままパーティへ出かけ、感染を広めてしまうおそれがある

「とスペクター教授はビデオの中で述べています。

デルタ株の感染力は従来株の二倍、「きわめて感染しやすい」とスペクター教授は言います。

「とてもくつきやすいウイルスで、（ワクチン接種が進んでいることにより）実際に攻撃できる人が少なくなっているのに、短期間でこれほどの感染者が出てくるのはそのためだ」と述べられました。

ワクチンを二度打とう

報道によれば、ワクチンも一回だけの接種ではデルタ株に対しては効き目が落ちますが、二度接種をした場合は、効き目はわずかに低下する程度だとスペクター教授は言います。

（デルタ株でも）二度の接種をしていけば、リスクは少なくとも5分の1から10分の1になります。

ZOEアプリのデータから分かっている限りでは、感染しても、（接種していない場合と比べて）はるかに軽く、短期間で治るため、入院する可能性は大幅に低くなります。

これは、二度の接種を受ける十分な理由になる」と述べられました。（インターネットより抜粋）